

< 府県版、市町村版参考資料 >

土壌雨量指数 : 土壌雨量指数は、降雨による土砂災害リスクの高まりを示す指標で、土壌中に貯まっている雨水の量を示す指数。詳細は土壌雨量指数の説明
(<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/knownow/bosai/dojoshisu.html>) を参照。

流域雨量指数 : 流域雨量指数は、河川の上流域に降った雨による、下流の対象地点の洪水害リスクの高まりを示す指標で、降った雨水が地表面や地中を通して時間をかけて河川に流れ出し、さらに河川に沿って流れ下る量を示す指数。詳細は流域雨量指数の説明 (<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/knownow/bosai/ryuikishisu.html>) を参照。

表面雨量指数 : 表面雨量指数は、短時間強雨による浸水害リスクの高まりを示す指標で、降った雨が地表面にたまっている量を示す指数。詳細は表面雨量指数の説明
(<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/knownow/bosai/hyomenshisu.html>) を参照。

< 警報の危険度分布の基準値について >

危険度分布には、警報基準(基準)、注意報基準(基準)に加え、警報基準よりも一段高く設定した基準(基準)を用いている。

大雨警報(浸水害)の危険度分布は、基準 (大雨警報(浸水害)の基準よりも一段高く設定した表面雨量指数基準)、基準 (大雨警報(浸水害)の表面雨量指数基準)、基準 (大雨注意報の表面雨量指数基準)のいずれも、市町村等の域内において単一の値をとる。

洪水警報の危険度分布の流域雨量指数基準及び複合基準は、基準 (洪水警報の基準よりも一段高く設定した流域雨量指数基準)、基準 (洪水警報の流域雨量指数基準又は表面雨量指数基準)、基準 (洪水注意報の流域雨量指数基準又は表面雨量指数基準)のいずれも、総務省が定めた「地域メッシュ」(約 1km 四方)毎に設定している。